

來八月三日午前九時ヨリ第一
二十六回同窓會ヲ開會ス
但此廣告ヲ以テ通知ニ換
フ

磐城佑賢學舍同窓會

新益注文提灯

種々
ギフ提灯新形

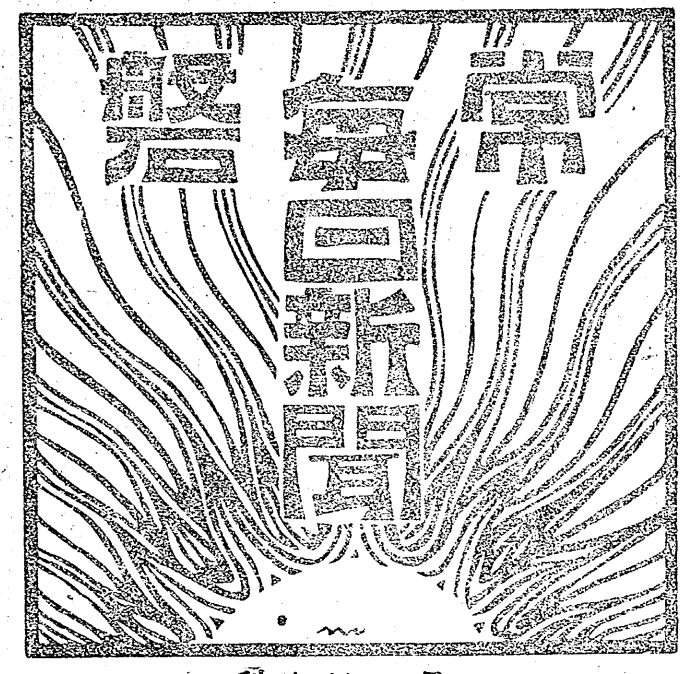
叶。加藤商店

貸家案内

仲町町 勤人向 一〇〇〇〇
同 勤人向 八〇〇〇
柳町 勤人向 五五〇〇
同 勤人向 六〇〇〇
同 勤人向 五五〇〇
北白銀町 商店向 七〇〇〇
長橋 勤人向 五五〇〇
五丁目 勤人向 四、五〇〇
小島 紳士向 物置風呂付 八〇〇〇

加藤營業所

其保身命保險株式會社
磐城代理店
神戶海上運送火災保險株式會社
平代理店
白銀町電話三二番



日刊 一頁行紙 川崎文治 本社下田番地(電話六三〇番) 印刷所 常磐毎日印刷所

定額五分 一月一元 半年六元 一年十二元 郵料在內 廣告料別議 電話六三〇番

八月二日夕刊

正金商會

涼味を追ふて 海へ!! 山へ!!

海水着と 登山袋

ツルヤ商店

電話百四十番

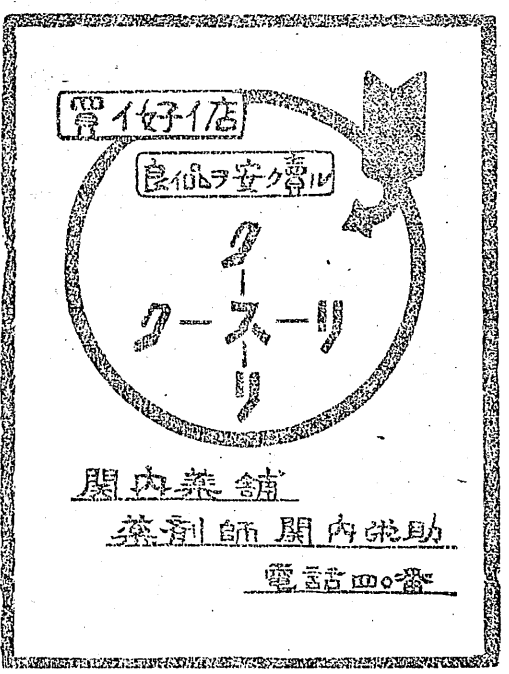
携帶用各種 運送にも理想的な スツク製布團入 平町四丁目

照操院新益に相當り候處生前の遺志に従ひ且つ時
局に鑑み提灯其の他金品供物等一切の御贈品を
御遠慮仕り堅く御断り申上候間何卒悪からず御了
承りされ度此段失禮ながら紙上を以て奉希上候 頓首
石城郡平町田町五七

丸山慶治

天稟院新益に相當し候へ共時節柄提灯等
の御贈與一切御辭退申上候間悪しからず
御諒承願上候
平町三丁目十五

馬目勝次郎



賣れ行きが事實を證明する 品質聲價共に抜群の!!

磐城セメント

和洋銅鐵 金物問屋 磐屋商店
磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

第十五期昭和貳年 上半 決算報告

貸借對照表	
資本金	五〇〇,〇〇〇
預積立金	三〇,〇〇〇
他店ヨリ借	五〇,〇〇〇
未拂利息未	四〇,〇〇〇
未拂利息未	三九,〇〇〇
未拂利息未	一,三九〇
計	一,一三九,〇〇〇
負債之部	
計	一,一三九,〇〇〇
未拂込資本金	三三九,〇〇〇
未拂込資本金	三九九,〇〇〇
未拂込資本金	四八,〇〇〇
未拂込資本金	四,〇〇〇
計	一,一三九,〇〇〇

滋養分の多い ブドーアメ

平町十五丁目 發賣元 佐藤アドーシ店 平驛構内賣 久保田パンヤ

井戸 瀧井孝作
四
上ミ隣りの家の井戸は土
間の薄暗い所だつたやうに
思ふ。私は子供時分の出来
事でよくは覚えぬがこの井
戸に誰れか落ちて死んだ。
隣りの主人は何所か遠國へ
出稼ぎの人で、今思へば何
所かの鑛山の精煉工の王夫
だつた。長男は暴れ者で家
に落付かなかうたが居ると
きはさつといさかひが起つ
た。私も子供心にどなりの
男が戻つたときけば不安だ
つた覚えがある。次男が盗

みて監獄へやられた噂され
た折りまた兄は強盜常習犯
かのやうに噂され、子供の
私は隣りから二人も悪人が
出たからそれは病氣のやう
に感染ると思つた。隣りの
母親は途中で亡くなつたん
だと思ふが井戸に落ちこん
だのはそれだつたのではな
いか。隣りは段々に無人に
なり老病の祖母様が一人寝
てゐて、前に云つた兄弟の
姉に當る女が外から来て見
舞ふ位だつた。此姉は何所
かの男に身を寄せてゐると
云つた風だつた。こんな
して隣りはしまひに表ては
戸閉されたか、或る日、長
道中の旅姿の主人が同じ旅



暗雲低く垂れて

悲しき今日の別れ

甘數基の花輪に飾られて

故警城高等女學校校長櫻井賢文氏の葬儀は悲雲低く垂れて哀愁の細雨ひそかに注ぐ本日崇徳裡に校葬を以つて執行された、先づ午後一時教頭中川葬儀委員長を先頭

甘數基

の花輪に飾られた靈柩は親戚及び同窓生並びに友人、生徒の各總代に護られて研町の自宅を出て縣知事代理大久保學務課長、各職員、団体代表、同窓會員、生徒等供奉の許に一般會葬者後に續き足の歩みも静かに紺屋町より才掘小路を通過し舊城跡に登

警女校

に到着、葬場は作法室に裁縫室を續け二百數十疊敷きの大廣間をしつらへ西寄りの正面中央に靈柩を安置し午後二時導師明賢寺住職藤内祐真師外十數名の僧侶の讀經裡に告別式に移り

伊東縣知事、縣下中學校長總代、赤十社福島支部平町各學校長總代、石城郡各町村長總代、縣會議員總代、十五日會、十三日會、弘道會平支部、石城兒童研究會、校友會、同窓會、生徒總代の各弔辭朗讀、弔電の披露あり喪主喜文君を始め見幸未亡人其他順次焼香を終り式を閉じたが會葬せる全校

生徒は日頃居た恩師が幽明處を異にせる今日の悲しさに顔もあげえず歎歎の聲場に満ち香煙縷々として昂る彼方に哀切極りなきものがあつた尙ほ同窓會總代の弔辭左記の如くである

慈父の如く親つて私達恩師が幽明處を異にせる今日の悲しさに顔もあげえず歎歎の聲場に満ち香煙縷々として昂る彼方に哀切極りなきものがあつた尙ほ同窓會總代の弔辭左記の如くである

故警城高等女學校同窓會長櫻井賢文先生のみひつぎの御前に白します、みまかりませし先生と今幽明境を異にして語らんとは幾度も私達は夢かと思ひ又その幻にあらぬかを疑ひましたけれども、先生に遂にかへた難い現實である事を悲み、先生よこの日は又何と云ふ悲しい日でありませう行く雲さへ吹く風さへ皆とめどなき私達の涙をさそうばかりであります、日頃御壯健な御姿ばかりを拜して私達はどうして今か、この日の來る事を思ひましたらう思へば、このさだめでありました、それとも長き御いたづきの日とはなく、いたづらぬ手ながら御看護申上ぐることも私達には叶はずた、卒然として御他界なされた事はそのあまりのほかなさあまりの心残りさを泣くばかりであります、憶へば私達が先生を學びやにお迎へ申したのには、永への平和にはなりました、私達の學びや先生を迎へて又一層の明るさをとよろこびを求めぐまれました、私達がすこやかに

學びの屋を出でて又つゝがなき世の道をたどり得るも皆先生の深き御恩を謝して居ます、まことに御慈愛深く御德行高き先生は慈母の如き御教と安らかさを私達へ垂れて居りました、先生を失つたこれからの私達はどんな道をたどり又今先生の御胸にいだかれてる教子達はここにそのよろこびを求めて行く事せう、先生も僅かに不惑を越ゆるばかりにて幾多の希望と理想をこの世に去りて逝かれんとは先生のため世のためにも最もをしまるゝことでありませう、あれを思ひこれと思へば私達の胸はたゞふたがるばかりであります、でもこゝに私達は先生の御教を憶ひ起します、先生は學宇宙を究め識古今に及び夙に流轉の物界を去りて久遠の靈界に悟れる方でありました、故にみまかれる今も尙先生の御精靈はこの世にいまして尙私達教子の胸に生き、又先生のなされた御仕事に生きて行くことせう、だから私達もこれから一層先生の御教訓を守り身を修め世につくすのが先生の御恩に報する一端と思ひます、私達同窓會員も先生の遺された幾多の御仕事の御精神を發揚する事に努め

さすれば先生よ、永への御別れを申し上げます、警城高等女學校同窓會 總代 金成さきみ

三庭球決勝

来る七日に

既報石城郡四倉町仲青年團主催三縣聯合庭球大會は去る廿一日同町新設コートに於て開催降雨の爲め決勝戦に入らなかつたの下來る七日再び同所にて開催される事になつた因に三等賞を得たチームは大日本炭礦、平鐵輪、磯原、郡山セントラルの各チームにて來る七日に準決勝戦に入るべきチームは左記の如くである

警炭(松本) 警炭(志賀) 警炭(武者) 警炭(猪狩)

大内(大坪) 武田(國府田)

大谷保太郎 懲役一年に

昨日言渡さる

平町材木川居住茨城縣生れ大谷保太郎に係る不正無盡の文書偽造詐欺事件は昨日福島地方裁判所平支部に於て千葉裁判長より懲役一年



庭家 欄

疲れを治す飲物

暑いから汗が出る、咽喉が渇く、だから水や茶がほしい、然し飲むだけ出るから

夏は飲みたい人は幾ら澤山飲んでもよい、但し一度に多量を飲むこと、夜になつてからや涼しくなつてからはなるべく差控へるがよい、何となれば、汗になつて出るからこそ幾ら飲んで身體にさほらないが、もう汗が出なくなつた頃に飲むのは徒らにも小便の量を増すのみであります。幾分の疲れを醫する目的ならば醬油を番茶に落して用ふるも頗る妙である、昆布茶も磯の香、鹽味でなか／＼飲める方の部類、氷水等よりは現代式のいろ／＼な高價な飲料水よりは寧ろお茶や麥湯の方をおすゝめいたします。

猪狩新任平署長

電話口での蠻聲

何分頼むよ

ニコ／＼振りが見ゆる様

平警察署長に榮轉し來る猪狩清氏に祝辭を呈する爲め中村署に電話を掛けた、以下は猪狩署長と記者との對話である

「モン／＼猪狩署長ですか、お目出度ふ」

「アツ、猪狩です、有難ふ何分頼むよ」

「イッ頃御赴任です」

「中村の人達が送別會だ何んだと色々心配してくれてますので多分七日頃になると思ひます」

「平には元居たんだからなつかしいでせう」

「イヤーどうも、大正十二年三月に平から縣廳へ行つたんだから七年振りですかな、それにしても僕の居た頃とは大分變つて居やうから……」

「平町の人達は腕さゝの署長が來ると云ふので大喜びですよ、盛んな歓迎會でもやりますかね」

「歓迎會は眞ツ平、期待に

反した凡骨だからね」

「イヤ御謙遜には及びませんよ、早く平へ來て下さい」

「來ると云つたつて行かぬ譯には參るまいテ」

「餘り送別會等へヒツパリ廻されて休を壞さぬ様願ひますヨ」

「大丈夫、こう見ても酒の上での失敗は末だ一回もない積りだ」

「それではお會ひの出來る日を楽しんで居りますヨ」

「イヤー何分よろしく、では左様なら、アツ櫻村君によろしくネ」

郡山で は少し荷がかりさうにも思ひるが此處に居た岡部警部や大松崎警部補等も居るから何んとか造つて遣れぬ事もあるまい各方面から榮轉だ榮轉だを持ち上げられると何んぞなぐそんな氣にもなつて一層責任の

重大さ を痛感せず

に居らぬない、これと云ふのも諸君のお蔭だ、何分將來ともよろしく頼むよ、アツハハ……」と極めて大元氣で如才なく愛嬌を振り撒いて居た

大元氣で如才なく

愛嬌を振り撒く

郡山署長に榮轉した

櫻村さん語る

郡山警察署長に榮轉し然も近く警視に昇進さるゝ筈の櫻村慶氏は満面に笑を耐えて語る「イヤー改つては祝辭を 申されては

痛み入る、平署の在勤年數は二ヶ年八ヶ月だが其間二大勞働争議あり、且つ白水の五人殺し等稀らしい事件が多く何しろ縣下唯一の事

の言渡があつた

平第一校臨海學校

第一信

お父さんお母さんの御見送りを受けて、僕等は汽車中も元氣で無事目的地の小名濱地福院に着きました、茶目の方、下駄靴と心配する者、色々の話の種を残して赤ふん、赤鉢巻平第一臨海學校の白旗、丁度源平の戦の様に、海へ、なまきさへとかけ出しました。砂に寝る者、小波たたまひれる者、仲々の大さわぎ、けれども先生等の命令はしつかり守つてゐます。五時半に夕飯をたべました。俺は三杯だ僕は五杯だ。大食官をさぐる連中も見受けられました。食事を終へ、自分の食器は自分で仕末をして、三々五々散歩に出かけました。(八月一日)

坑夫の惨死 石城郡内郷村宮城炭礦高坂坑夫夫鮮人金谷兼(三)は三十一日午前十時頃トロッコに炭を積み運搬中坑木に衝突同時に落盤しその下敷となつて即死